

安倍9条改憲阻止！安倍退陣！あいちでの取り組み

昨年12月、安倍9条改憲NO!あいち市民アクションのキックオフ集会が行われ、愛知でも改憲阻止の3000万人署名の取り組みが始まりました。

7月11日時点で657,198筆が集まり、全国では4月末で1350万筆が集約されています。

市民アクションでは、6月19日に、東京から高田健さんをお呼びして、これまでの活動の総括と今後の運動の提起のお話を聞き、安倍改憲を断念させるまで引き続き3000万署名を継続することを確認しました。

2月の自民党大会までに自民党案を出すことさえできずにいることから、改憲は遠のいたという気配を感じるかもしれませんが、安倍の改憲への意欲は衰えていません。何よりも、政治を私物化し行政をゆがめ、民主主義も立憲主義も蔑ろにする安倍政権は1日でも早く退陣させなければなりません。

そのために

5月3日、あいち9条の会と安倍9条改憲NO!あいち市民アクション、愛知憲法会議の3者は11月3日に大行動を行うことを呼びかけました。この呼びかけの下、6月17日に行われた拡大会議には約100人の参加があり、活発な意見交換が行われました。

11月の行動に向けて、9月の自民党総裁選と3年前に安保法制が強行採決をされた9月19日の集会を多くの結集で成功させ、連続して運動を盛り上げていくことが必要だと確認されました。

次回、7月27日には第2回の拡大事務局会議が行われます。原発再稼働、辺野古の新基地建設、安保法制(戦争法)、秘密保護法、共謀罪、働き方改革、カジノ法などなど安倍政権がやって来たことは、憲法破壊、立憲主義の破壊、民主主義の破壊、暮らしの破壊です。安倍政治を終わらせるために秋の闘いに向け全力を尽くしましょう。



3団体からの呼びかけ文

11月3日の一斉行動、1万人集会にむけた拡大会議への参加をよびかけます

森友・加計問題など民主主義を掘り崩す事態が続くなか、野党は結束し国会で追及を強め、「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万署名)の早期達成、完遂をめざし全国で取り組みが続いています。愛知では4月以降、安倍政権への批判の高まりに比例するように署名が伸び、「安倍9条改憲NO! あいち市民アクション」の集計で621,778筆(5/31現在)に達しました。全国の運動が国会での改憲発議を阻止する大きな力になっています。

安倍政権はこの国会をのりきれば国民の批判も冷めるともくろんでいます。首相と首相夫人の関与を隠すためのデータ隠し、公文書の改ざん、責任もとろうとしない麻生財務大臣の続投など、安倍内閣による国政の私物化、強権政治を絶対に許すことはできません。

主権者の手に政治をとり戻し、この国に民主主義を確立するために安倍内閣を倒すことが喫緊の課題です。その力で憲法改悪を阻止しましょう。いまこそ市民が声をあげ、行動をさらに大きくするときです。

私ども3団体(安倍9条改憲NO!あいち市民アクション・愛知憲法会議・あいち九条の会)は5月3日、①憲法9条が危機にある今、改憲を阻止する行動をねばり強く続けること、②3000万署名をさらにひろげること、③11月3日にかつてない規模の一斉行動、大集会を実現させることをよびかけました。

11月3日の一斉行動、大集会の成功にむけて、改憲発議を阻止する運動をいまから積みかさね、万をこえる市民がつどい、目に見えるかたちで大きく安倍9条改憲NO!の意思表示をする行動としたいと思います。

第2回拡大会議

■7月27日 午後6時半から

■教育館 講堂 (栄)